

## 平成30年度 第3回 犬山市地域公共交通会議 議事要旨

日時：平成30年10月29日（月）午前10時～

場所：犬山市役所4階401会議室

出席者：18名中16名

### 1 開会

- 【事務局】 開会の挨拶を行う。  
傍聴者（3名参加）について、説明を行う。

### 2 あいさつ

- 【磯部会長】 挨拶を行う。  
【事務局】 犬山市地域公共交通会議の委員数18名に対し、本日は16名が出席されている。過半数をこえているため、本日の会議が成立していることを宣言する。また、代理出席、配布資料について説明を行う。

### 3 議事

#### （1）報告事項

- 平成30年度再編に係る運行事業者の決定について
- 路線図兼時刻表について

【磯部会長】 議事録の署名者に宮地委員と工藤委員を指名する。

【事務局】 資料1、資料2を説明する。

【杉本委員】 病院・診療所や岐阜バス系統図の記載がされ見やすいものになった。

他自治体の取り組みとして「マイ時刻表」という自分が行きたいところの時刻を記載できる表を掲載している例がある。また「マイ時刻表」作成の支援をしている自治体もある。より親しみやすくなると思う。利用促進策の一つとして検討していただくと良い。

【磯部会長】 別紙を用意する方法もある。いろいろ活用できる。

【児玉委員】 犬山市は行楽客が増えた。毎日運行となったことで、コミュニティバスでどこに遊びに行けるのかが分かる資料を用意できれば利用者増となると思う。

【磯部会長】 観光部局と組んで進めていただければと思う。

## ■ バス停留所・バス待合所について

- 【事務局】 資料3を説明する。
- 【杉本委員】 ネーミングライツ制度を設けることにより収入確保になる。
- 【磯部会長】 企業・商店の名称掲載は宣伝効果ある。
- 【飯坂委員】 防水対策はどうなっているか。
- 【事務局】 上部パネルは強化塩ビ板、路線図時刻表もラミネートにより防水対応しています。

## ■ 運行車両について

- 【事務局】 資料4を説明する。
- 【飯坂委員】 安全対策として追突防止機能は保証されているか。
- 【事務局】 衝突防止機能はありませんがABSは標準装備であり、ドライブレコーダーも全車装備済みです。

## ■ 広告事業について

- 【事務局】 資料5を説明する。
- 【飯坂委員】 契約期間を知りたい。
- 【事務局】 車体広告は3ヶ月以上、車内放送は3年を区切りとしています。  
車体広告7千円以上とは、応募が重なった場合に金額の高い方を採用するために、以上という募集にしました。今回の応募では競合はありませんでした。
- 【磯部会長】 運行路線が固定の車両はあるか。
- 【事務局】 固定はありません。広告主には契約の際に伝えてあります。

## ■ 夏休み期間限定 コミュニティバス無料乗車について

- 【事務局】 資料6を説明する。
- 【宮島委員】 池野小学校の登校にコミュニティバスを利用している。市の補助を毎年要望している。
- 【事務局】 教育部局へ良い方策がないか相談します。
- 【飯坂委員】 夏休みに合わせて市内イベントがあると利用増につながる。また、最終目的地の分析はされているか。
- 【事務局】 夏休み期間中に開催されるイベント案内一覧を事前に配布しました。さらなる利用増のため引き続き対策を検討します。最終目的地の把握はしていませんが、今後、検討します。
- 【磯部会長】 交通政策で、モビリティ・マネジメントという言葉がある。積み重ねていけば普段の意識が変わっていくことが期待される。

- 【児玉委員】 小・中学校への乗り方教室は開催しているか。保護者同伴も無料にしてみてもは。
- 【事務局】 何かしらの機会を捉えて教育部局と連携していきたいと考えています。  
保護者同伴については学校側のルールでしたが、今年度の冬休み期間中の無料乗車から、同伴の制約が無くなりました。保護者の無料については検討します。
- 【杉本委員】 アンケートの回答の中で、乗らなかった「その他の理由」とは何か。
- 【事務局】 小学生では、  
「ひとりで乗って迷うかもしれない怖くて乗れない」、  
「親を誘っても大人の料金がかかるから」、「車の方が安心」との回答でした。  
中学生では、  
「利用する時間ない」、「車の方がいい」、「部活動がある」、「自転車の方が楽」との回答でした。
- 【磯部会長】 貴重な意見だと思う。コミュニティバス利用促進の良いヒントとなる。
- 【杉本委員】 バスの必要性を伝えるため、出前講座等を行う等、検討をお願いしたい。

#### ■ その他 平成30年度コミュニティバス再編スケジュール

- 【事務局】 再編スケジュールを説明する。
- 【磯部会長】 再編に際し、事務局の考えを。
- 【事務局】 まずは再編を知ってもらうための周知をしっかりと進め、利用促進を図っていきたくと考えています。また、問合せが増えると思われるため、きちんと対応が行えるよう課内で認識の統一を図ります。  
利用状況については、随時、会議で伝えていきます。
- 【磯部会長】 この再編をチャンスにして、利用促進のためアイデアを出してチャレンジしてほしい。他にご意見は。なければ以上をもって本日予定の議事を終了し、進行を事務局にお返しする。
- 【事務局】 磯部会長におかれましては、会議のとりまとめありがとうございました。  
また委員の皆さま方にはご審議をいただきまして、ありがとうございました。  
次回の公共交通会議は12月中下旬の開催を予定しております。  
以上で本日の会議を終了いたします。

以上

平成30年12月7日

本書は、平成30年10月29日に開催された犬山市地域公共交通会議の議事要旨に相違ないことを証する。

署名人 工藤 彰郎

署名人 宮地 瑛子